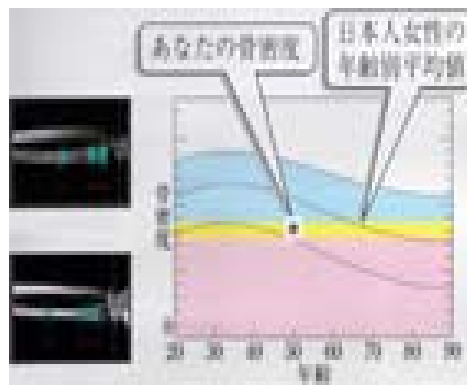


●骨密度測定装置が導入されました！



▲非利き腕で約 15 秒間の検査時間です



▲骨折危険域（ピンクの部分）に入らないように若いうちから骨密度を高めておくことが重要です

女性では 50 歳以上、男性では 60 歳以上になると、腰痛が起きてきますが、目立って身長が低くなり、円背（猫背）になり、また些細なことで骨折したり、ぎっくり腰になります。

その原因の大部分は骨の骨量（骨密度）が減少した退行性骨粗しょう症によるもので、老化現象の一つとみなされています。進行するとごくわずかな外力で脊椎骨の変形や圧迫骨折、四肢骨の骨折を起こすようになります。骨折すると高齢者では生活の活動度が著しく損なわれてしまいます。

若いうちから骨密度を高めるようにしていないと、特に女性では閉経後にホルモンの低下により急激に骨密度が低下していきます。（男性では年齢が高くなっても骨密度の落ち込みは低いです）

当院の骨密度測定装置は 2 種類の엑스線を利用して、骨と骨以外の組織を効率よく分離します。前腕骨は加齢による骨の変形を受け難く、高齢者の測定にも適しています。

検査は簡単で痛みもなく行えます。検査時間は 15 秒程度です。検査をご希望の患者様は担当医、窓口にご相談ください。

骨密度を測定し、自分の骨密度を知りましょう。若いうちからの生活習慣が重要です。（放射線部）